TDAG8			Control		
	β-actin	Cox-2		β-actin	Cox-2
pH6.4 - 0h	20.44	21.52	pH6.4 - 0h	19.81	21.82
4h	20.68	20.8	4h	19.83	22.53
24h	19.82	19.05	24h	21.2	21.99
pH7.4 - 0h	20.41	21.55	pH7.4 - 0h	19.33	22.82
4h	19.89	24.66	4h	19.96	25.42
24h	21.49	22.21	24h	20.29	24.79

表 2　LLC 細胞を pH 6.4 又は 7.4 の 0.1%BSA 含有 DMEM 培地で各時間培養し、抽出した総 RNA を逆転写した後に定量的 PCR 法により Cox-2 の mRNA 量を測定した。 酸性条件ではコントロール細胞と比較して TDAG8 安定発現細胞において Cox-2 の誘導が促進された。数字は Crossing Point を表す。これは定量的 PCR 時において、設定した閾値レベルを越えたときのサイクル数である。この値が低いほど mRNA の量は多いことを意味する。PCR の理論に照らし合わせると、立ち上がりが 1 サイクル早いと、mRNA の量はおおむね 2 倍量存在すると考えられる。

		MMP-2	MMP-9	VEGF	EREG	mPGES1
TDAG8	0h	25.86	34.84	23.33	26.49	24.64
	4h	26.81	34.77	25.13	26.53	26.2
	24h	23.79	34.74	23.86	25.59	21.87
Control	0h	24.76	34.71	23.6	26.77	23.55
	4h	24.69	33.93	25.84	26.89	24.44
	24h	25.04	32.33	24.48	27.02	24.94

表 3　酸性条件下で培養した TDAG8 安定発現細胞では MMP-2 と mPGES-1 の遺伝子発現も増強された。数字は Crossing Point を表す。

含有量が TDAG8 安定発現細胞投与マウスにおいて有意に高かった(図 14)。

Cox-2 の発現誘導が TDAG8 安定発現細胞の増殖に直接関与しているかを調べるために、Cox-2 の阻害剤である NS-398 を用いて細胞毒性アッセイを行った。その結果、pH 6.4 及び 7.4 のいずれの場合も濃度依存的に細胞増殖が阻害されたものの、pH が 6.4 でも 7.4 でも NS-398 への感受性に明らかな違いは認められなかった(図 15)。また、PGE_2 の添加は酸性条件でのコントロール細胞の増殖に影響を及ぼさなかった。これらの結果から、Cox-2 は LLC 細胞の増殖には強く関与していないと考えられる。

D. 考察

癌細胞の増殖は、しばしば必要な血管新生を上回る速度に達する。加えて、癌細胞における血管新生は総じて不完全でありその血管網は無秩序・脆弱であることから一時的な血流遮断が頻繁に起こる。また、発癌及び転移生着の初期においては基底膜を超えて血管は進入してこない。これらの要因により癌細胞とその周辺部位は必然的に低酸素・栄養状態に陥る。低酸素状態に引き続いて腫瘍部位が次第に酸性に移行していくことは古くから知られている。低酸素状態は解糖系関連酵素を誘導し、エネルギー産生が解糖系にシフトする

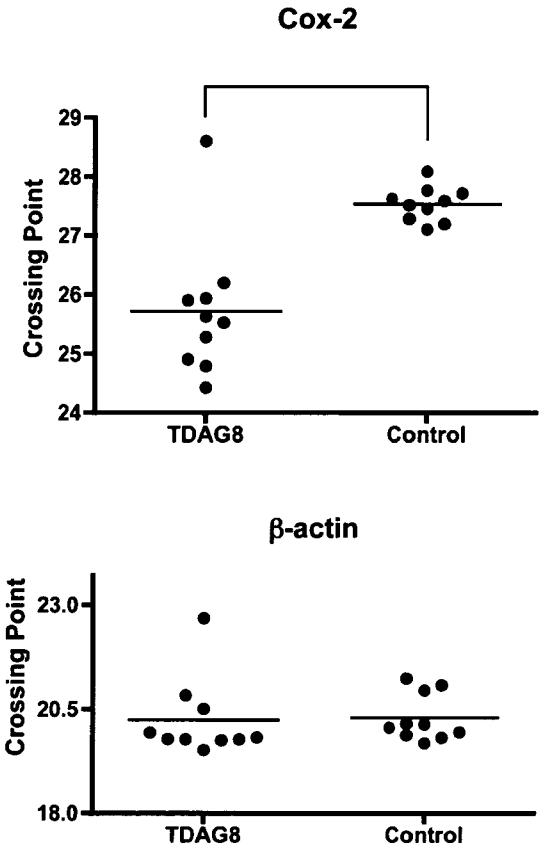


図 13　マウスに TDAG8 安定発現細胞またはコントロール細胞を尾静脈投与し、19 日後に肺を回収し総 RNA を抽出した。逆転写後に定量的 PCR 法で Cox-2 と β-actin の mRNA 発現量を調べた。β-actin mRNA には大きな差がなかったのに対して、Cox-2 mRNA の発現は TDAG8 安定発現細胞投与マウスの方が有意に高かった（*P < 0.01 by Mann-Whitney test)。

結果、乳酸などの解糖系代謝物が産生されることが主な原因であると考えられている。腫瘍部位における酸性状態は様々な遺伝子発現を促すという報告が多数ある。例えば、マウス B16 メラノーマでは MMP-9 の発現が上昇する。また、ヒト乳ガン細胞では PDGF の発現誘導が、神経膠腫では誘導型一酸化窒素合成酵素が、卵巣腫瘍ではインターロイキン-8 がそれぞれ誘導されるという報告がある。しかしながら酸性状態に特異的な腫瘍細胞の増殖機構や

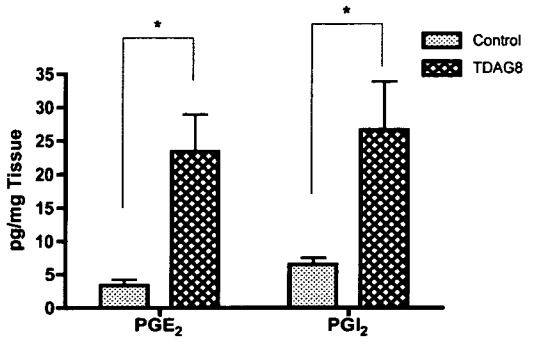


図 14　図 13 と同様にして回収した肺組織から脂質を抽出して質量分析計で定量したところ、コントロール細胞投与マウスと比べて TDAG8 安定発現細胞投与マウスの PGE_2 と PGI_2 含有量は有意に高かった（*P < 0.05 by Mann-Whitney test, n = 10)。

細胞外酸性環境の感知機構については未だ詳細は明らかになってない。

本研究では、細胞外 pH 感知性受容

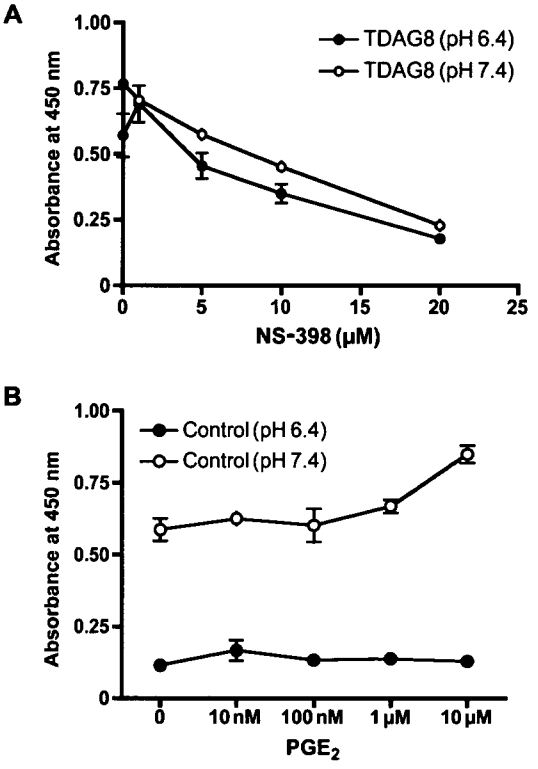


図 15　Cox-2 の選択的阻害剤 NS-398 および PGE_2 の細胞増殖への効果を調べた。A: pH 6.4 及び 7.4 のいずれの条件下においても TDAG8 安定発現細胞では NS-398 濃度依存的な細胞増殖能の低下が観測された（n = 5)。B: pH 6.4 及び 7.4 でコントロール細胞を PGE_2 存在下で培養したが、pH 6.4 において増殖促進効果は見られなかった（n = 5)。

体であるTDAG8をLLC細胞に安定発現させ、マウスの尾静脈に投与した結果、TDAG8 が肺での腫瘍形成を促進することを見いだした。また同様の腫瘍形成促進は皮下注射モデルにおいても観測されたことから、TDAG8 は多岐に渡る腫瘍形成を促進することが考えられる。TDAG8 はヒト腫瘍組織で発現の亢進が見られ、細胞が酸性環境に曝されることで活性化される GPCR であると考えられる。従って今回観察した現象は酸性状態において TDAG8 が活性化され、その結果癌転移・腫瘍形成の過程に深く関わっていることを強く示唆している。そこでその分子メカニズム解析を *in vitro* で行った。

癌転移・腫瘍形成において最も重要な要因の一つは増殖能の促進である。酸性条件における LLC 細胞の増殖は TDAG8 を過剰発現させることにより亢進した。この増殖能は PKA, ERK 依存的であり、PI3K, Akt, mTOR はあまり関与していないことが示唆された。さらに PKA 阻害剤を用いた ERK リン酸化実験により ERK は PKA を介して活性化されていることが分かった。B-Raf を有する細胞では、GPCR のシグナル伝達経路において、ERK が PKA を介して活性化されることが知られている。PCR により LLC 細胞は B-Raf を mRNA レベルで発現していることが示された。また、cAMP 産生能を欠損した TDAG8 の変異体は酸性条件下の細胞増殖活性を有さず、癌転移モデルにおいても症状は劇的に緩和されていた。以上のことから、おそらく TDAG8 のシグナル経路において PKA は ERK の上流に位置し、細胞増殖能の維持に関与していると考えられる。実際 Ras-ERK 経路の活性化は腫瘍形成において主要な経路であることが報告されている。一方で、GPCR が EGFR などのチロシンキナーゼ型受容体を介して ERK 経路を刺激している報告もある。EGFR シグナルが TDAG8 のシグナル経路に関与しているかは明らかではなく、PKA との関連も不明である。従って今後詳細なシグナル解明が必要であると考えている。

TDAG8 を LLC 細胞に過剰発現させた場合、コントロール細胞と比較して酸性条件培養下での増殖に差が見られた一方で、中性（無刺激）条件ではほとんど差が見られなかった。また、TDAG8 変異体発現細胞では野生型 TDAG8 発現細胞で見られた酸性条件下での増殖維持能は大幅に減弱した。これらの結果から、今回観測された現象は TDAG8 を過剰発現させたことによる酸性刺激非依存的な ERK の活性化を見ているわけではなく、TDAG8 の細胞外 pH 感知機能を介した酸性刺激依存的な活性化が起きていることを強く支持していると言える。

in vitro での解析により、酸性刺激によって mPGES-1, MMP-2, Cox-2 等の癌関連遺伝子の mRNA は TDAG8 により発現が促進した。さらに、TDAG8 安定発現 LLC 細胞を尾静脈投与したマウスの肺組織においてもコントロール細胞投与マウスと比較して、Cox-2 の mRNA レベルは亢進していた。また、同様の肺組織から抽出した脂質の解析から PGE_2 と PGI_2 の含有量にも有意な差が見られた。Cox-2 は様々な癌に深く関与することが知られ

ている。PGE_2 は PGE 受容体を介した増殖経路の活性化やケモカインなどの発現誘導により細胞の浸潤を促進する。今回の結果は Cox-2 及び PGE_2 は LLC 細胞の増殖には関与していないことを示唆している。しかし Cox-2 は腫瘍細胞自身のみならず、宿主細胞にも作用することで腫瘍の悪性化を促すことが知られており、誘導された Cox-2 及び脂質メディエーターは LLC 細胞の増殖以外に幅広く作用している可能性があると考えられる。

先に述べたように GPCR の過剰発現は癌細胞において数多くの例が見られる。トロンビンの受容体である PAR1 やエンドセリン受容体、LPA 受容体などは主に増殖に関連した受容体である。また、ケモカインの受容体である CXCR4 や CXCR2 の過剰発現は癌細胞や腫瘍関連マクロファージの遊走を促すことが知られている。このようなリガンド依存的な現象にとどまらず時にはリガンド非依存的に増悪下に関わる例もある。これらの知見から、GPCR の過剰発現は癌の進行において大きな役割を担っていると考えられる。

本研究で得られた結果から、TDAG8 が腫瘍細胞の細胞外 pH センサーとして重要な役割を果たしていること、そして過剰発現により pH 依存的に癌を増悪化する可能性を初めて示すことができた。TDAG8 とは別の細胞外 pH 感知性受容体のである OGR1 をヒト前立腺癌細胞（PC3 細胞）に過剰発現させると、マウスの癌転移モデルにおいて OGR1 が転移に抑制的に働くことが最近報告された。しかしながら、細胞レベルの解析ではこの OGR1 の転移抑制能は pH 感知性非依存的であることが示唆されている。したがって、細胞外 pH 感知性 GPCR と腫瘍形成及び癌転移を結びつけたのも本研究が初めてである。ちなみに、TDAG8 と GPR4 が NIH3T3 細胞をトランスフォーメーションしたという報告があるが、その当時はこれら分子が細胞外 pH 感知性 GPCR であることが知られていなかったので、この現象に細胞外 pH が関連性するかどうかについては検討されていない。TDAG8 は細胞膜上に発現しているため、今後 TDAG8 の拮抗薬や抗体医薬の開発により一部の癌の進行を食い止めることが期待できるであろう。

E. 結論

細胞外 pH 感知性 G 蛋白質共役型受容体 TDAG8 の生理機能解析を行った。その結果、TDAG8 はマウス尾静脈注射および皮下注射による癌モデルにおいて腫瘍形成を促進すること、その主要な分子メカニズムは PKA 及び ERK を介した細胞増殖促進であることを明らかにした。さらに、TDAG8 は酸性条件下で Cox-2 や mPGES-1 などの癌関連遺伝子の発現誘導をすることも合わせて明らかにした。

研究協力者
東京大学大学院医学系研究科
生化学分子生物学講座
清水 孝雄、井原 裕一朗、木原 泰行、

柳田 圭介、浜野 文三、北 芳博

東京大学大学院医学系研究科
病理学講座
深山 正久、国田 朱子、森下 保幸

F. 健康危険情報
なし

G. 研究発表
1) 論文発表
英文原著

1. Shindou, H., Hishikawa, D., Nakanishi, H., Harayama, T., Ishii, S., Taguchi, R., and Shimizu, T. (2007) A single enzyme catalyzes both PAF production and membrane biogenesis of inflammatory cells: cloning and characterization of acetyl-CoA:lyso-PAF acetyltransferase. **J. Biol. Chem.**, 282, 6532–6539.
2. Witzenrath, M., Gutbier, B., Owen, J.S., Schmeck, B., Mitchell, T.J., Mayer, K., Thomas, M.J., Ishii, S., Rosseau, S., Suttorp, N., and Schütte, H. (2007) Role of platelet-activating factor in pneumolysin-induced acute lung injury. **Crit. Care Med.**, 35, 1756-1762.
3. Tsuda, M., Ishii, S., Masuda, T., Hasegawa, S., Nakamura, K., Nagata, K., Yamashita, T., Furue, H., Tozaki-Saito, H., Yoshimura, M., Koizumi, S., Shimizu, T., and Inoue, K. (2007) Reduced pain behaviors and ERK activation in primary sensory neurons by peripheral tissue injury in mice lacking platelet-activating factor receptor. **J. Neurochem.**, 102, 1658-1668.
4. Hikiji H., Takato T., Shimizu T., and Ishii S. The roles of prostanoids, leukotrienes, and platelet-activating factor in bone metabolism and disease. **Prog. Lipid Res.** (Invited Review), in press.
5. Jiang, W., Hall, S.R., Moos, M.P.W., Cao, R.Y., Ishii, S., Ogunyankin, K.O., Melo, L.G., and Funk, C.D. Endothelial cysteinyl leukotriene 2 receptor (CysLT2R) expression mediates myocardial ischemia-reperfusion injury. **Am. J. Pathol.**, in press.

2) 学会発表

1. 石井聡　Gタンパク質共役型受容体の機能解明と呼吸器学への応用
第47回日本呼吸器学会学術講演会　教育講演　2007年5月12日
東京
2. 石井聡　システイニルロイコトリエンの生体機能　-CysLT2とアレルギー性炎症-
第28回日本炎症・再生医学会　ワークショップ　2007年8月2日
東京
3. 石井 聡，柳田 圭介，井原 裕一朗，住田 隼一，木原 泰行，野口 響子，清水 孝雄，阿部 学，崎村 建司
リゾホスファチジン酸受容体LPA4とLPA5の生体機能
第30回日本分子生物学会年会・第80回日本生化学会大会 合同大会
シンポジウム　2007年12月13日　横浜

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得　　なし
2. 実用新案登録　　なし
3. その他　　なし

III. 研究成果の刊行に関する一覧

英文原著

1. Makita R, Uchijima Y, Nishiyama K, Amano T, Chen Q, Takeuchi T, Mitani A, Nagase T, Yatomi Y, Aburatani H, Nakagawa O, Cobo-Stark P, Igarashi P, Murakami M, Tominaga J, Sato T, Asano T, Kurihara Y, Kurihara H. Renal tubular dysmorphogenesis leading to multicystic formation and lung emphysema in mice lacking TAZ. **Am J Physiol** (in press, 2008).

2. Yamaguchi Y, Nagase T, Tomita T, Nakamura K, Fukuhara S, Amano T, Yamamoto H, Ide Y, Suzuki M, Teramoto S, Asano T, Kangawa K, Nakagata N, Ouchi Y, Kurihara H. Beta-defensin overexpression induces progressive muscle degeneration in mice. **Am J Physiol Cell Physiol** 2007; 292: C2141-9.

3. Yamamoto H, Nagase T, Shindo T, Aoki-Nagase T, Nakamura K, Yamaguchi Y, Hanaoka Y, Kurihara H, Ouchi Y. Adrenomedullin insufficiency increases allergen induced airway hyperresponsiveness in mice. **J Appl Physiol** 2007, 102, 2361-2368.

4. Aoki-Nagase T, Nagase T, Oh-hashi Y, Kurihara Y, Yamaguchi Y, Yamamoto H, Nagata T, Kurihara H, Ouchi Y. Calcitonin gene-related peptide mediates acid-induced lung injury in mice. **Respirology** 2007; 12: 807-13.

5. Goto Y, Nagase T. 12-h pretreatment with methylprednisolone versus placebo for prevention of postextubation laryngeal oedema: a randomised double-blind trial (Correspondence letter). **Lancet** 2007; 370: 25.

6. Miyazawa H, Kato M, Awata T, Kohda M, Iwasa H, Koyama N, Tanaka T, Huqun, Kyo S, Okazaki Y, Hagiwara K. Homozygosity haplotype allows a genomewide search for the autosomal segments shared among patients. **Am J Hum Genet** 2007; 80: 1090-1102.

7. Huqun, Izumi S, Miyazawa H, Ishii K, Uchiyama B, Ishida T, Tanaka S, Tazawa R, Fukuyama S, Tanaka T, Nagai Y, Yokote A, Takahashi H, Fukushima T, Kobayashi K, Chiba H, Nagata M, Sakamoto S,Nakata K, Takebayashi Y, Shimizu Y, Kaneko K, Shimizu M, Kanazawa M, Abe S, Inoue Y, Takenoshita S, Yoshimura K, Kudo K, Tachibana T, Nukiwa T, Hagiwara K. Mutations in the SLC34A2 gene are associated with the pulmonary alveolar microlithiasis. **Am J Respir Crit Care Med** 2007; 175: 263-268.

8. Kikuchi I, Kikuchi S, Kobayashi T, Takaku Y, Hagiwara K, Kanazawa M, Nagata M. Theophylline attenuates the neutophil-dependent augmentation of eosinophil trans-basement membrane migration. **Int Arch Allergy Immunol.** 2007; 143(Suppl 1): 44-49.

9. Kobayashi T, Takaku Y, Kikuchi I, Soma T, Hagiwara K, Kanazawa M, Nagata M. Eosinophils do not enhance the trans-basement membrane migration of neutrophils. **Int Arch Allergy Immunol.** 2007; 143(Suppl 1): 38-43.

10. Shindou H, Hishikawa D, Nakanishi H, Harayama T, Ishii S, Taguchi R, Shimizu T. A single enzyme catalyzes both platelet-activating factor production and membrane biogenesis of inflammatory cells. Cloning and characterization of acetyl-CoA:LYSO-PAF acetyltransferase. **J Biol Chem.** 2007; 282: 6532-9.

11. Tsuda M, Ishii S, Masuda T, Hasegawa S, Nakamura K, Nagata K, Yamashita T, Furue H, Tozaki-Satoh H, Yoshimura M, Koizumi S, Shimizu T, Inoue K. Reduced pain behaviors and extracellular signal-related protein kinase activation in primary sensory neurons by peripheral tissue injury in mice lacking platelet-activating factor receptor. **J Neurochem.** 2007; 102: 1658-68.

12. Witzenrath M, Gutbier B, Owen JS, Schmeck B, Mitchell TJ, Mayer K, Thomas MJ, Ishii S, Rosseau S, Suttorp N, and Schütte H. Role of platelet-activating factor in pneumolysin-induced acute lung injury. **Crit Care Med** 2007;35:1756-62.

13. Jiang W, Hall SR, Moos MPW, Cao RY, Ishii S, Ogunyankin KO, Melo LG, and Funk CD. Endothelial cysteinyl leukotriene 2 receptor (CysLT2R) expression mediates myocardial ischemia-reperfusion injury. (in revision)

14. Schaefer, M.B., Ott, J., Mohr, A., Bi, M.H., Grosz, A., Weissmann, N., Ishii, S., Grimminger, F., Seeger, W., and Mayer, K. Immunomodulation by n-3- vs. n-6-rich lipid emulsions in murine acute lung injury – role of platelet-activating factor receptor. **Crit. Care Med.**, 2007, 35, 544-554.

15. Yanagida, K., Ishii, S. (correspondence), Hamano, F., Noguchi, K., and Shimizu, T. $LPA_4/p2y_9/GPR23$ mediates Rho-dependent morphological changes in a rat neuronal cell line. **J. Biol. Chem.**, 2007, 282, 5814-5824.

16. Kikuchi I, Kikuchi S, Kobayashi T, Hagiwara K, Sakamoto Y,Kanazawa M, Nagata, M. Eosinophil trans-basement membrane migration induced by interleukin-8 and neutrophils. **Am J Respir Cell Mol Biol** 2006; 34: 760-5.

17. Kishiya M, Saito K, Kikuchi I, Kobayashi T, Hagiwara K, Kanazawa M, Nagata, M. Differential effects of salbutamol and montelukast on eosinophil adhesion and superoxide anion generation. **Int Arch Allergy Immunol** 2006; 140: Suppl 1: 17-22.

18. Sutani A, Nagai Y, Udagawa K, Uchida Y, Koyama N, Murayama Y,Tanaka T, Miyazawa H, Nagata M, Kanazawa M, Hagiwara K, Kobayashi, K. Gefitinib for non-small-cell lung cancer patients with epidermal growth factor receptor gene mutations screened by peptide nucleic acid-locked nucleic acid PCR clamp. **Br J Cancer** 2006; 95: 1483-1489.

19. Koyama N, Jinn Y, Takabe K, Yoshizawa M, Usui Y, Inase N,Miyake S, Yoshizawa Y, Hagiwara K, Kanazawa, M. The characterization of gefitinib sensitivity and adverse events in patients with non-small cell lung cancer. **Anticancer Res** 2006; 26: 4519-4525.

20. van der Sluijs, K.F., van Elden, L.J.R., Nijhuis, M., Schuurman, R., Florquin, S., Shimizu, T., Ishii, S., Jansen, H.M., Lutter, R., and van der Poll, T. Involvement of the platelet activating factor receptor in host defense against *Streptococcus pneumoniae* during postinfluenza pneumonia. **Am. J. Physiol.** 2006, 290, L194-L199.

21. Doi, K., Okamoto, K., Negishi, K., Suzuki, Y., Nakao, A., Fujita, T., Toda, A., Yokomizo, T., Kita, Y., Kihara, Y., Ishii, S., Shimizu, T., and Noiri, E. Attenuation of folic acid-induced renal inflammatory injury in platelet-activating factor receptor-deficient mice. **Am. J. Pathol.** 2006, 168, 1413-1424.

和文総説

1. 長瀬隆英. テオフィリン薬による COPD の治療－PDE4 阻害薬などの薬剤開発を含めて. 内科. 2008; Vol.101 No.5: 271-273

2. 長瀬隆英. 脂質メディエーターと呼吸器疾患－気管支喘息, 肺線維症を中心に. 臨床検査. 2007; 第 51 巻 5 号: 477-481

3. 福地義之助, 相澤久道, 一ノ瀬正和, 三嶋理晃, 久保惠嗣, 永井厚志, 長瀬隆英, 高橋和久,栗山喬之, 三上正志, 山谷睦雄, 西村正治. COPD の増悪に対するカルボシステインの臨床効果(PEACE Study). 呼吸. 2007; 26 巻 10 号: 955-963

4. 長瀬隆英. 新しい COPD 治療薬の可能性. 成人病と生活習慣病. 2007; 37 巻 9 号: 1049-1052

5. 長瀬隆英. 高齢者 COPD の臨床. 日本老年医学会雑誌. 2007; 第 44 巻第 5 号: 585-586

6. 長瀬隆英. ステロイド薬 慢性安定期にステロイド薬は有効か？. Modern Physician.

2007; Vol.27 No.11: 1508-1510

7. 長瀬隆英. 喘息と脂質メディエーター. 日本胸部臨床. 2007; 第 66 巻 11 号増刊: S100-S105

8. 長瀬隆英. 高齢者喘息. アレルギーの臨床. 2007; 27 巻 10 号: 16

和文著書

1. 長瀬隆英. 誤嚥性肺炎. 今日の治療指針 2008. 医学書院. 2008. 228

2. 長瀬隆英. COPD. 気管支喘息のすべて. 文光堂. 2007. 364-367

3. 長瀬隆英. 気管支拡張症. 別冊・医学のあゆみ 呼吸器疾患. 2007. 471-472

4. 長瀬隆英. 呼吸器疾患の分子生物学. 内科学 第九版. 朝倉書店. 2007. 660-665

American Journal of Physiology-Renal Physiology

Copy of e-mail Notification zh25047

Proof of your article (# F-00201-2007) from "American Journal of Physiology-Renal Physiology" is available for download

=====

Dear Sir or Madam:

Please refer to this URL address
http://rapidproof.cadmus.com/RapidProof/retrieval/index.jsp

Login: your e-mail address
Password: ----

The file at the above URL address contains the following:
• Proofreading marks
• Reprint Order form
• Copyedited page proof of your article
The site contains 1 file. You will need Adobe Acrobat® Reader to read this file. Adobe Acrobat® Reader is a free software, available for user downloading at http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html.

After you print the PDF file of your paper, please read the page proof carefully and
1) clearly indicate all changes or corrections on the margin;
2) answer all queries (footnotes 1, 2, 3, etc.) listed on the last page of the PDF proof;
3) carefully proofread all/any tables and equations;
4) make sure that any special characters, such as Greek letters, especially μ (mu), have translated correctly;
5) If you have questions about figure quality, note your concerns on the margin of the relevant page. Please keep in mind that the final printed version will be of higher quality than the PDF proof and that the online version of the published article will appear identical.

We encourage you to retain a copy of the proof with your corrections, should further changes and/or clarifications be required.

IMPORTANT NOTES
1. To guarantee the placement of your article in the next available issue of the "American Journal of Physiology-Renal Physiology", please return the corrected set of PDF page proof via an overnight courier service to this address WITHIN 48 HOURS:
The American Physiological Society
"American Journal of Physiology-Renal Physiology" PROOF
9650 Rockville Pike
Bethesda, MD 20814-3991
USA
phone: 301-634-7070

2. If you require a hard copy of your color image(s), you may request it by replying to this message. The color proof will then be provided to you at an additional fee of $75.00 per color figure, which will be added to the publication fees for your article. You must provide the appropriate figure number(s) and your mailing address in your reply if you wish to receive the hard copy of the color proof(s).

3) The filled out Reprint Form must be returned within 24 hours to the address below:
Cadmus Professional Communications
Cadmus Reprints
PO Box 751903
Charlotte NC 28275-1903

USA

For reprint inquiries, please contact Mary Leonard, fax: 410-770-4659, e-mail: leonardm@cadmus.com.

If you have any problems or questions, please contact me.
PLEASE ALWAYS INCLUDE YOUR ARTICLE NO. (F-00201-2007) WITH ALL CORRESPONDENCE.

Sincerely,

Stephanie B. Demma
Journal Editorial Supervisor
AJP-Renal Physiology

9650 Rockville Pike
Bethesda, Maryland 20814-3991 (USA)
Phone: 301-634-7211
Fax: 301-634-7243
E-mail: sdemma@the-aps.org

Proofreader's Marks

MARK	EXPLANATION	EXAMPLE
	TAKE OUT CHARACTER INDICATED	 Your proof.
	LEFT OUT, INSERT	 Your proof.
	INSERT SPACE	 Yourproof.
	TURN INVERTED LETTER	Your proof.
	BROKEN LETTER	 Your proof.
	EVEN SPACE	A good proof.
	CLOSE UP: NO SPACE	Your proof.
	TRANSPOSE	 A proof good
	WRONG FONT	 Your proof.
	LOWER CASE	 Your proof.
	CAPITALS	Your proof. Your proof.
	ITALIC	Your proof.  Your proof.
	ROMAN, NON ITALIC	 Your proof.
	BOLD FACE	Your proof.  Your proof.
	LET IT STAND	~~Your~~ proof.  ~~Your~~ proof.
	DELETE, SEE COPY	 She Our proof.
	SPELL OUT	Queen Eliz.
	START PARAGRAPH	read. Your
	NO PARAGRAPH: RUN IN	marked. Your proof.
	LOWER	Your proof.

MARK	EXPLANATION	EXAMPLE
	RAISE	 Your proof.
	MOVE LEFT	Your proof.
	MOVE RIGHT	Your proof.
	ALIGN TYPE	Three dogs. Two horses.
	STRAIGHTEN LINE	Your proof.
	INSERT PERIOD	Your proof
	INSERT COMMA	Your proof
	INSERT COLON	Your proof
	INSERT SEMICOLON	Your proof
	INSERT APOSTROPHE	Your mans proof.
	INSERT QUOTATION MARKS	Marked it proof
	INSERT HYPHEN	A proofmark.
	INSERT EXCLAMATION MARK	Prove it
	INSERT QUESTION MARK	Is it right
	QUERY FOR AUTHOR	Your proof read by
	INSERT BRACKETS	The Smith girl
	INSERT PARENTHESES	Your proof 1
	INSERT 1-EM DASH	Your proof.
	INDENT 1 EM	Your proof
	INDENT 2 EMS	Your proof.
	INDENT 3 EMS	Your proof.

Renal Physiology 2008

Published by The American Physiological Society

This is your reprint order form or pro forma invoice

(Please keep a copy of this document for your records. This form is not for commercial ordering.)

IMPORTANT Order form must be returned within 48 hours of receipt to avoid late charges. Orders received after 48 hours will be charged an additional fee of 25%. Orders received after 30 days will be charged an additional 50%. Reprints containing color figures are available only if ordered before the journal is printed. It is the policy of Cadmus Reprints to issue only one invoice per order. **Please print clearly.** ***Please return form whether reprints are ordered or not.***

Author Name _____

Title of Article _____

Issue of Journal_____ Reprint # _____ Manuscript # F-00201-2007 Publication Date_____

Number of Pages_____ Color in Article? Yes / No (Please Circle) Symbol ARENAL

Please include the journal name and reprint number or manuscript number on your purchase order or other correspondence.

Order and Shipping Information

Reprint Costs (Please see page 2 of 2 for reprint costs/fees.)

_____ Number of reprints ordered $_____

_____ Number of color reprints ordered $_____

Subtotal $_____

Add appropriate sales tax/GST to subtotal $_____

First address included, add $32 for each additional shipping address $_____

Publication Fees (Please see page 2 for fees and descriptions.)

Page Charges: $70 per journal page $_____

Color Figures: $400 per color figure $_____

Hard copy color proof: $75 per figure $_____

Toll-Free Link: $150 $_____

_____ _____

Member No. Member Signature

Total Publication Fees $_____

TOTAL TO REMIT $_____

Shipping Address (cannot ship to a P.O. Box) Please Print Clearly

Name _____

Institution_____

Street _____

City _____ State _____ Zip _____

Country_____

Quantity_____ Fax _____

Phone: Day _____ Evening _____

E-mail Address _____

Additional Shipping Address* (cannot ship to a P.O. Box)

Name _____

Institution_____

Street _____

City _____ State _____ Zip _____

Country_____

Quantity_____ Fax _____

Phone: Day _____ Evening _____

E-mail Address _____

** Add $32 for each additional shipping address*

Payment and Credit Card Details (*FEIN #:541274108*)

Enclosed: Personal Check _____

Institutional Purchase Order _____

Credit Card Payment Details _____

Checks must be paid in U.S. dollars and drawn on a U.S. Bank.

Credit Card: __ VISA __ Am. Exp. __ MasterCard

Card Number _____

Expiration Date_____

Signature: _____

Please send your order form and purchase order or prepayment made payable to:

Cadmus Reprints
P.O. Box 751903
Charlotte, NC 28275-1903

Note: Do not send express packages to this location, PO Box.

Invoice or Credit Card Information

Invoice Address **Please Print Clearly**

Please complete Invoice address as it appears on credit card statement

Name _____

Institution _____

Department _____

Street _____

City _____ State _____ Zip _____

Country _____

Phone _____ Fax _____

E-mail Address _____

Purchase Order No._____

Cadmus will process credit cards and *Cadmus Journal Services* will appear on the credit card statement.

If you do not mail your order form, you may fax it to 410-820-9765 with your credit card information.

SIGNATURE REQUIRED: By signing this form the author agrees to accept responsibility for the payment of the mandatory page charges of $70 per page, reprints ordered, as well as any color charges, late payments, and split shipment charges. If the charges are billed to an institution, the author must assume the responsibility for making the necessary arrangements for the issuance of a formal institutional purchase order. Otherwise, it is understood that the author will bear the cost of these charges. Failure to pay any of these agreed-upon charges could jeopardize future submissions.

AUTHOR Signature _____ Fax_____

Telephone _____ E-mail _____

ML-12-27-07

Renal Physiology 2008

Published by The American Physiological Society

REPRINT AND PUBLICATION CHARGES; Author rates only. Not to be used for commercial ordering

Black and White Reprint Prices

Domestic (USA only)						
# of Pages	100	200	300	400	500	Addl 100's
1-4	$226	$316	$405	$495	$583	$82
5-8	$307	$464	$624	$782	$939	$141
9-12	$396	$602	$813	$1,018	$1,226	$158
13-16	$475	$751	$1,027	$1,303	$1,581	$263
17-20	$552	$890	$1,226	$1,564	$1,896	$322
21-24	$642	$1,038	$1,432	$1,827	$2,222	$377
25-28	$720	$1,187	$1,651	$2,114	$2,578	$442
29-32	$813	$1,334	$1,869	$2,401	$2,935	$507

International (includes Canada and Mexico)						
# of Pages	100	200	300	400	500	Addl 100's
1-4	$255	$356	$462	$564	$669	$95
5-8	$348	$534	$721	$907	$1,094	$170
9-12	$452	$699	$957	$1,201	$1,455	$201
13-16	$545	$878	$1,211	$1,545	$1,880	$321
17-20	$637	$1,046	$1,455	$1,862	$2,265	$392
21-24	$739	$1,220	$1,702	$2,183	$2,664	$462
25-28	$835	$1,398	$1,961	$2,528	$3,088	$542
29-32	$939	$1,577	$2,226	$2,873	$3,521	$622

Color Reprint Prices

Domestic (USA only)						
# of Pages	100	200	300	400	500	Addl 100's
1-4	$331	$526	$720	$915	$1,108	$188
5-8	$413	$674	$939	$1,202	$1,463	$246
9-12	$501	$812	$1,128	$1,438	$1,751	$263
13-16	$580	$961	$1,343	$1,723	$2,106	$367
17-20	$657	$1,101	$1,541	$1,983	$2,420	$427
21-24	$748	$1,247	$1,747	$2,248	$2,747	$482
25-28	$825	$1,396	$1,965	$2,535	$3,104	$547
29-32	$918	$1,544	$2,185	$2,821	$3,460	$611

International (includes Canada and Mexico)						
# of Pages	100	200	300	400	500	Addl 100's
1-4	$360	$567	$778	$986	$1,196	$200
5-8	$454	$745	$1,038	$1,330	$1,621	$275
9-12	$558	$911	$1,274	$1,623	$1,984	$306
13-16	$651	$1,090	$1,528	$1,968	$2,409	$427
17-20	$744	$1,259	$1,774	$2,287	$2,795	$498
21-24	$845	$1,433	$2,021	$2,608	$3,195	$568
25-28	$942	$1,611	$2,281	$2,954	$3,620	$649
29-32	$1,047	$1,790	$2,546	$3,300	$4,055	$728

Minimum order is 100 copies. For orders larger than 500 copies, please consult Cadmus Reprints at 800-407-9190.

Page Charges

$70 per journal page for all pages in the article, whether or not you buy reprints.

Color

Reprints containing color figures are available. If your article contains **color**, you must pay subsidized color charges of $400/fig. (reprint charge is $1000/fig for those who do not pay promptly), whether or not you buy reprints. These **color charges are waived for APS Members who are the first or last author of the paper**. If you requested a **hard copy color figure proof** when you reviewed your S-proof, the charge is $75.

Shipping

Shipping costs are included in the reprint prices. Domestic orders are shipped via FedEx Ground service. Foreign orders are shipped via an expedited air service. The shipping address printed on an institutional purchase order always supersedes.

Multiple Shipments

Orders can be shipped to more than one location. Please be aware that it will cost $32 for each additional location.

State Sales Tax and Canadian GST

Residents of Virginia, Maryland, Pennsylvania, and the District of Columbia are required to add the appropriate sales tax to each reprint order. For orders shipped to Canada, please add 6% Canadian GST unless exemption is claimed.

Late Order Charges

Articles more than 90 days from publication date will carry an additional charge of $5.67 per page for file retrieval.

TOLL-FREE LINK

A link can be created from a url of your choice to your article online so that readers accessing your article from your url can do so without a subscription. The cost is $150. This is especially useful if your article contains electronic supplemental material. For more information, please click on this link:

http://www.the-aps.org/publications/sprooflink.pdf

Ordering

Please fax your order form and purchase order to 410-820-9765. Prepayment of **checks** should be mailed to address below:

Cadmus Reprints
P.O. Box 751903
Charlotte, NC 28275-1903

Note: Do not send express packages to this location.
FEIN #:541274108

Please direct all inquiries to:

Mary Leonard
800-407-9190 (toll free number)
410-819-3912 (direct number)
410-820-9765 (FAX number)
LeonardM@cadmus.com

Reprint Order Forms and Purchase Orders or prepayments must be received 48 hours after receipt of form.

Please return this form even if no reprints are ordered.

tapraid4/zh2-aflu/zh2-aflu/zh200308/zh25047d08z | xppws | S=1 | 1/29/08 | 2:16 | MS: F-00201-2007 | lni: 03/dmp/dlh

Am J Physiol Renal Physiol 294: F000–F000, 2008.
First published January 2, 2008; doi:10.1152/ajprenal.00201.2007.

Multiple renal cysts, urinary concentration defects, and pulmonary emphysematous changes in mice lacking TAZ

AQ: 1

Ryosuke Makita,[1,2] Yasunobu Uchijima,[1] Koichi Nishiyama,[1] Tomokazu Amano,[2] Qin Chen,[3] Takumi Takeuchi,[3] Akihisa Mitani,[1,4] Takahide Nagase,[4] Yutaka Yatomi,[5] Hiroyuki Aburatani,[6] Osamu Nakagawa,[7,8] Erin V. Small,[7] Patricia Cobo-Stark,[9] Peter Igarashi,[9] Masao Murakami,[1,10] Junji Tominaga,[1] Takahiro Sato,[1] Tomoichiro Asano,[1,11] Yukiko Kurihara,[1] and Hiroki Kurihara[1]

Departments of [1]Physiological Chemistry and Metabolism, [2]Developmental Medical Technology (Sankyo), [3]Urology, [4]Respiratory Medicine, and [5]Laboratory Medicine, Graduate School of Medicine and [6]Genome Science Division, Research Center for Advanced Science and Technology, The University of Tokyo, Tokyo; [10]Department of Medicine and Clinical Science, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto; [11]Department of Biomedical Chemistry, Hiroshima University Graduate School of Biomedical Sciences, Hiroshima, Japan; and [7]Division of Cardiology, Departments of Internal Medicine, [8]Molecular Biology, and [9]Internal Medicine and Pediatrics, The University of Texas Southwestern Medical Center at Dallas, Dallas, Texas

Submitted 28 April 2007; accepted in final form 31 December 2007

Makita R, Uchijima Y, Nishiyama K, Amano T, Chen Q, Takeuchi T, Mitani A, Nagase T, Yatomi Y, Aburatani H, Nakagawa O, Small EV, Cobo-Stark P, Igarashi P, Murakami M, Tominaga J, Sato T, Asano T, Kurihara Y, Kurihara H. Multiple renal cysts, urinary concentration defects, and pulmonary emphysematous changes in mice lacking TAZ. *Am J Physiol Renal Physiol* 294: F000–F000, 2008. First published January 2, 2008; doi:10.1152/ajprenal.00201.2007.— TAZ (transcriptional coactivator with PDZ-binding motif), also called WWTR1 (WW domain containing transcription regulator 1), is a 14-3-3-binding molecule homologous to Yes-associated protein. TAZ acts as a coactivator for several transcription factors as well as a modulator of membrane-associated PDZ domain-containing proteins, but its (patho)physiological roles remain unknown. Here we show that gene inactivation of TAZ in mice resulted in pathological changes in the kidney and lung that resemble the common human diseases polycystic kidney disease and pulmonary emphysema. *Taz*-null/*lacZ* knockin mutant homozygotes demonstrated renal cyst formation as early as *embryonic day 15.5* with dilatation of Bowman's capsules and proximal tubules, followed by pelvic dilatation and hydronephrosis. After birth, only one-fifth of TAZ-deficient homozygotes grew to adulthood and demonstrated multicystic kidneys with severe urinary concentrating defects and polyuria. Furthermore, adult TAZ-deficient homozygotes exhibited diffuse emphysematous changes in the lung. Thus TAZ is essential for developmental mechanisms involved in kidney and lung organogenesis, whose disturbance may lead to the pathogenesis of common human diseases.

transcriptional coactivator with PDZ-binding motif

AQ:2

TAZ (TRANSCRIPTIONAL COACTIVATOR with PDZ-binding motif), also called WWTR1 (WW domain containing transcription regulator 1), is a 14-3-3-binding molecule homologous to Yes-associated protein (YAP) (14, 18). TAZ, as well as YAP, possess a WW domain that can bind to the PPXY motif present in some transcription factors. Through this interaction and additional unknown mechanisms, TAZ can act as a coactivator for several transcription factors, including Runx2/Cbfa1, TTF-1/Nkx2.1, Tbx5, and Pax3 (5, 24, 25, 30). The COOH-terminal region of TAZ contains a PSD-95, Dlg, and ZO-1 homology (PDZ)-binding motif that localizes TAZ to discrete foci in the nucleus and is essential for its activity as a transcriptional coactivator (18). TAZ and YAP also bind to membrane-associated PDZ domain-containing proteins through this motif. In particular, TAZ and YAP bind to NHERF-2 and NHERF, respectively, which may link TAZ and YAP to transmembrane receptors and actin-binding proteins (14, 18). Furthermore, a recent report demonstrated that TAZ may modulate mesenchymal stem cell differentiation into osteogenic and adipogenic lineages by coactivating Runx2/Cbfa1 and repressing peroxisome proliferator-activated receptor-γ-dependent gene transcription (13). Thus TAZ and YAP are now regarded as context-dependent transcriptional modulators in various cell types that may link events at the plasma membrane and cytoskeleton to nuclear transcription, possibly in a 14-3-3-dependent manner (14, 18).

AQ: 3

In midgestation mouse embryos, TAZ is mainly expressed in the paraxial mesoderm, limb buds, and the neural tube (25). Later, TAZ is distributed more broadly in various tissues and organs (18 and UniGene's EST ProfileViewer). The broad distribution of TAZ and its interaction with different transcription factors essential for embryonic development led us to investigate the physiological role of TAZ by a gene targeting strategy.

Here, we demonstrate that inactivation of the mouse *Taz* gene in mice results in the formation of multiple cysts in the kidney and greatly enlarged airspaces in the lung. These phenotypes resemble human polycystic kidney diseases (PKD) and pulmonary emphysema, respectively. PKD is a human inherited renal disorder that is the most common genetic cause of renal failure in children and adults (3, 15). Autosomal dominant polycystic kidney disease (ADPKD) is the most prevalent form, with an incidence of 1–2 per 1,000 individuals and is characterized by bilateral formation of multiple cysts arising from any segment of the nephrons and collecting ducts. ADPKD is caused by mutations in either of two genes, *PKD1* and *PKD2*, that encode membrane-associated proteins polycys-

Address for reprint requests and other correspondence: H. Kurihara, Dept. of Physiological Chemistry and Metabolism, Graduate School of Medicine, Univ. of Tokyo, 7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033, Japan (e-mail: kuri-tky@umin.ac.jp).

The costs of publication of this article were defrayed in part by the payment of page charges. The article must therefore be hereby marked "*advertisement*" in accordance with 18 U.S.C. Section 1734 solely to indicate this fact.

tapraid4/zh2-aflu/zh2-aflu/zh200308/zh25047d08z | xppws | S=1 | 1/29/08 | 2:16 | MS: F-00201-2007 | Ini: 03/dmp/dlh

tin-1 and polycystin-2, respectively (23, 32, 33). Autosomal recessive polycystic kidney disease (ARPKD) is much less frequent (1/20,000 live births) and is caused by mutations of *PKHD1* (29, 37), which encodes polyductin/fibrocystin, a large transmembrane protein. Although the causative genes have been identified, the molecular mechanism underlying cystic formation remains largely unknown.

TAZ-deficient mice also exhibited urinary concentration defects, polyuria, and hydronephrosis. Although urinary concentrating defects have been observed in human ADPKD and ARPKD, massive polyuria and hydronephrosis are uncommon. These findings suggest that the pathophysiological processes in TAZ-deficient kidneys and human PKD are different in some respects. The similarities and dissimilarities between TAZ-deficient mice and PKD may provide important clues to understanding the pathogenesis of a common human disease.

In addition, the dilatation of airspaces of the lung in TAZ-deficient mice is morphologically reminiscent of human pulmonary emphysema, which is a common disease that causes death and disability, especially in the aged (1, 12). As a manifestation of chronic obstructive pulmonary disease (COPD), pulmonary emphysema is characterized by enlargement of airspaces and destruction of the alveolar wall. Although α-antitrypsin deficiency is known to cause a congenital form of pulmonary emphysema, little remains known concerning the molecular mechanisms underlying the pathogenesis of this disease. TAZ-deficient mice may also serve as a novel animal model for COPD as well as kidney diseases.

MATERIALS AND METHODS

Generation and genotyping of mutant mice. A C57BL6/J-derived BAC clone containing the mouse *Taz* gene was obtained from BACPAC Resource Center (Oakland, CA). The *nls-lacZ/PGKneo* cassette was made by placing the *lacZ* gene with a nuclear localization signal (*nls-lacZ*) adjacent to the *PGKneo* gene and flanking it with *lox71* at the 5′-end and *lox2272* at the 3′-end to allow recombinase-mediated cassette exchange. A pKO Scrambler NTKV-1904 plasmid (Stratagene) was used as a backbone vector. For the targeting construct, a PCR-amplified 1.2-kb fragment extending from the promoter region to the 5′-untranslated region in exon 2 and an 8.2-kb *Ngo*MIV-*Bam*HI fragment from intron 2 were inserted on each side of the *nls-lacZ/PGKneo* cassette (Fig. 1*A*). The targeting vector was linearized and electroporated into the B6129F1-derived embryonic stem (ES) cell line ATOM1 (Amano et al., unpublished observation). Clones that survived positive-negative selection with neomycin and

F1

AQ: 4

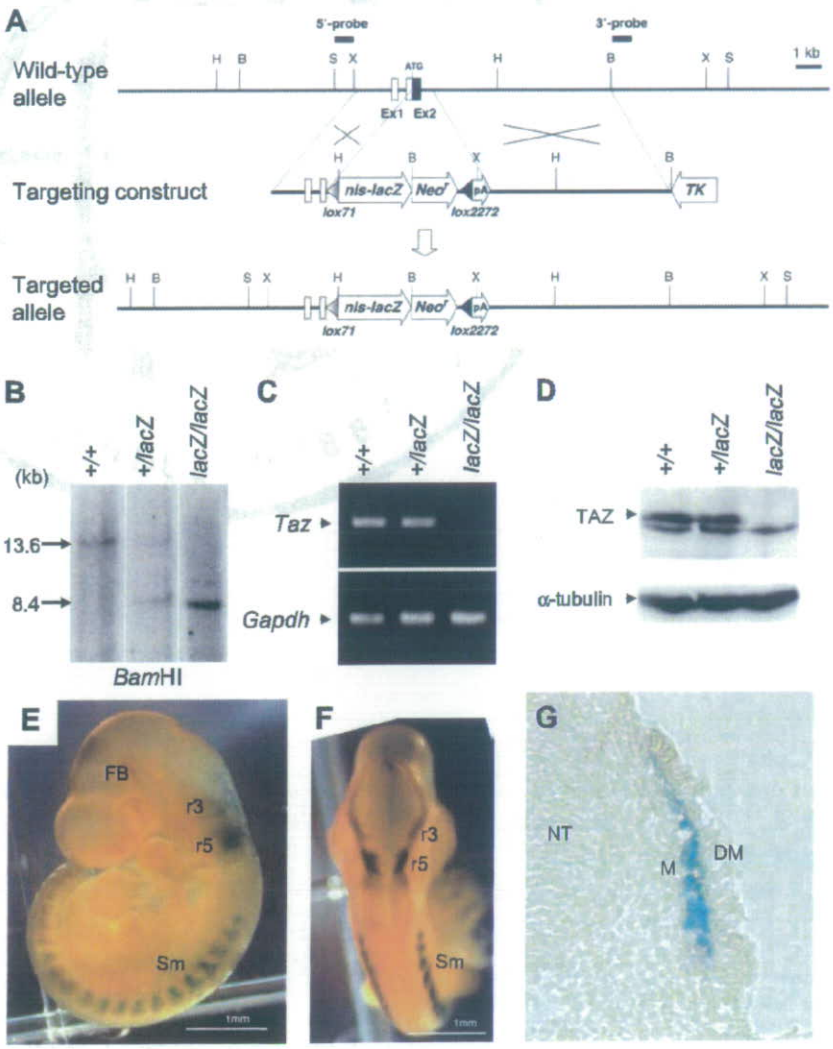


Fig. 1. Targeting of the mouse *Taz* (transcriptional coactivator with PDZ-binding motif) gene. *A*: schematic representation of the targeting strategy employed to knock in an *nls-lacZ* cassette into the *Taz* locus. Two different probes for genotyping are indicated as 5′- and 3′-probes. B, *Bam*HI; H, *Hind*III; S, *Sfu*I; X, *Xba*I. *B*: representative genotyping of the offspring from an F_1 intercross by Southern blot analysis. Genomic DNA samples were digested with *Bam*HI and probed with the 5′-probe. Bands of 13.6 and 8.4 kb represent wild-type and mutant alleles, respectively. *C* and *D*: RT-PCR (*C*) and Western blot (*D*) confirming the absence of TAZ expression in $Taz^{lacZ/lacZ}$ embryos. Total RNA and protein extracts were obtained from *embryonic day 15.5* whole embryos. Lower band in *D*, *top*, represents nonspecific binding. *E–G*: lateral (*E*) and dorsal (F) views of an *embryonic day 9.5* $Taz^{+/lacZ}$ embryo and a section at the level of the somites (*G*) stained with X-gal. FB, forebrain; DM, dermomyotome; M, myotome; NT, neural tube; r3 and r5, rhombomeres 3 and 5 of the hindbrain; Sm, somites.

COLOR

FIAU were screened for homologous recombination with diagnostic PCR primers. Targeted clones were injected in ICR blastocysts to generate germline chimeras. Mice homozygous for the *Taz*^{lacZ} allele were obtained by intercrossing F_1 heterozygotes. The genotypes of the offspring were determined by PCR or Southern blot analysis on tail-tip or amnion DNA. All animal experiments were reviewed and approved by the University of Tokyo Animal Care and Use Committee.

RT-PCR. Total RNA was extracted using ISOGEN (Nippon Gene). The reverse transcription reaction was carried out using SuperScriptIII (Invitrogen). PCR was then performed on the resulting cDNA using the primers 5′-GAAAATCACCACATGGCAAGACCC-3′ and 5′-TTACAGCCAGGTTAGAAAGGGCTC-3′ for *TAZ* (product size, 748 bp; annealing, 64°C), 5′-GGCTATGTGCAGTGTCATGTC-3′ and 5′-CTGTGATATGCCAGTGGTCAG-3′ for *Aqp1* (product size, 462 bp; annealing, 58°C), 5′-TGGATTCATGGAGCAGCCCGGT-3′ and 5′-TCCTTCCTTCGAGCTGCCTTC-3′ for*Aqp2* (product size, 312 bp; annealing, 58°C), 5′-ATCAAGCTGCCCATCTACAC-3′ and 5′-GGGCCAGCTTCACATTCTC-3′ for *Aqp3* (product size, 559 bp; annealing, 56°C), and 5′-GGTGTGAACCACGAGAAATAT-3′ and 5′-AGATCCACGACGGACACATT-3′ for *Gapdh* (product size, 335 bp; annealing, 56°C). For comparison of *Pkd1*, *Pkd2*, and *Pkhd1* expression levels, quantitative real-time RT-PCR was performed using the LightCycler system (Roche diagnostics) according to the manufacturer's protocol. Sequences of the primers were as follows; 5′-GGATGGTGATCAGACACCGCTCAA-3′ and 5′-TTGGTGGCTTCTTCCTTCCGACCT-3′ for *Pkd1*, 5′-TCTCCTCAGGTTATTGGCGGAGTT-3′ and 5′-GACATAGCGGATCAGTTTTACAGG-3′ for *Pkd2*, 5′-GGCGCCACAGACAAACAATTA-3′ and 5′-GCCCTGCAGTTCTAGCTTGGTT-3′ for *Pkhd1*, and 5′-GGTTGGCCCTGGGAGTACCAAGAA-3′ and 5′-AATGGGAAGCCCAAGTGCCTCTGT-3′ for *Avpr2*.

Western blotting. Anti-TAZ rabbit polyclonal antibody was previously described (25). Western blotting was performed on lysates from *embryonic day 13.5* whole embryos or 12-wk-old kidneys using a standard protocol.

Histology. For histological analysis, samples were fixed in formalin, embedded in paraffin, cut into 2-μm-thick sections, and stained with hematoxylin and eosin. Photomicrographs were obtained using a computer-assisted microscope (Nikon ECLIPSE 80i).

Urinary analysis. Urine volume was measured using the 48-h frequency/volume analysis system as previously described (4). Briefly, each mouse was placed in a metabolic cage connected to a digital scale and personal computer. Each mouse was provided with free access to food and water. After mice were acclimatized for 2 days in the cage, water intake, urine voiding frequency, and volume per void were recorded for 48 h.

Lectin and immunofluorescent staining. Lectin staining was performed on cryosectioned kidneys. *Embryonic day 18.5* kidneys were dissected, embedded in optimum-cutting temperature (OCT) compound (Miles), and cut into 10-μm-thick sections. After being blocked with blocking buffer, the sections were incubated for 1 h at 37°C with 20 μg/ml biotin-conjugated *Dolichos biflorus* agglutinin (DBA) or *Lotus tetragonolobus* agglutinin (LTA) followed by extensive washing with blocking buffer. Lectin staining was visualized by reacting with fluorescein isothiocyanate-conjugated streptavidin, and nuclei were counterstained with propidium iodide. Photomicrographs were obtained using a computer-assisted confocal microscope (Nikon D-ECLIPSE C1).

For immunofluorescent staining, paraformaldehyde-fixed cryosections were stained with antibodies to aquaporin-2 (gift from M. Knepper, National Heart, Lung, and Blood Institute, Bethesda, MD) or aquaporin-3 (Chemicon), as described previously (31). Nuclei were stained with 4′,6-diamidine-2-phenylindole (DAPI).

In situ hybridization. Isotopic in situ hybridization was performed on paraffin-embedded sections of *embryonic day 14.5* and *16.5* embryos using ^{35}S-radiolabeled RNA probes for *Taz/Wwtr1* as previously described (27).

β-Galactosidase staining. LacZ expression was detected by staining with X-gal (5-bromo-4-chloro-3-indoyl β-D-galactoside). Staining was performed as described by Nagy et al. (26) with minor modifications. Whole embryos and kidneys were washed in ice-cold PBS containing 2 mM $MgCl_2$ and fixed in 0.1 M phosphate buffer (pH 7.3) containing 0.2% glutaraldehyde, 5 mM EGTA, and 2 mM $MgCl_2$. Following rinsing three times with 0.1 M phosphate buffer containing 2 mM $MgCl_2$, 0.02% Nonidet P-40, 0.01% sodium deoxycholate, and 5 mM EGTA (washing buffer), samples were embedded in OCT compound and cryosectioned. Embryos or sections were incubated overnight at 37°C in X-gal-staining buffer (10 mM potassium ferrocyanide, 10 mM potassium ferricyanide and 2 mg/ml X-gal in washing buffer). For costaining with platelet/endothelial cell adhesion molecule, X-gal-stained sections were rinsed with PBS, incubated in the blocking buffer (see *Lectin and immunofluorescent staining*), and reacted with anti-CD31 antibody (BD Bioscience) (1:100) at 4°C overnight. Immunoreactivity was visualized with the VECTASTAIN ABC kit (Vector laboratories). Sections were counterstained with 1% Orange G (Sigma).

Morphometric analysis. The mean linear intercept, as a measure of interalveolar wall distance, was determined as described by Thurlbeck (34). Briefly, lines were drawn across light microscopic images of the lung section stained with hematoxylin and eosin. The mean linear intercept was calculated by dividing the total length of a line by the total number of intercepts encountered in 72 lines/lung.

Statistical analysis. Mann-Whitney nonparametric test was used to compare values between two groups for morphometric analysis. Student's *t*-test was used for the comparison of values in other experiments. Data were represented as means ± SD. Values of $P < 0.05$ were considered significant.

RESULTS

Generation of Taz-lacz knockin mice. We disrupted the mouse *Taz* locus by replacing the coding region in exon 2 with an *nls-lacZ/PGKneo* cassette (Fig. 1*A*). Of 683 ES cell clones screened, three clones were positive for the mutant *Taz*^{lacZ} allele. All three clones were injected in ICR blastocysts and gave rise to male germline chimeras, which were subsequently bred with ICR females to produce *Taz*$^{+/lacZ}$ heterozygous mice. The heterozygous mice appeared normal and were fertile. Offspring from *Taz*$^{+/lacZ}$ intercrosses were genotyped by Southern analysis of tail genomic DNA (Fig. 1*B*). The absence of *Taz* transcripts and protein in *Taz*$^{lacZ/lacZ}$ homozygous mice was confirmed by RT-PCR and Western blotting, respectively (Fig. 1, *C* and *D*).

To verify that *Taz*-directed *lacZ* expression reflected the pattern of authentic *Taz* expression, we stained for *lacZ* in

Table 1. *Genotypic distribution of offspring from heterozygous matings*

Age	Wild-type	*TazlacZ/+*	*TazlacZ/lacZ*	Total
E8.5	8 (29)	12 (43)	8 (29)	28
E13.5	25 (19)	77 (58)	31 (23)	133
E15.5	52 (23)	114 (50)	61 (27)	227
E18.5	76 (27)	152 (53)	61 (21)	289
P0	31 (35)	45 (51)	12 (14)	88
P21	133 (33)	234 (59)	30 (8)	397

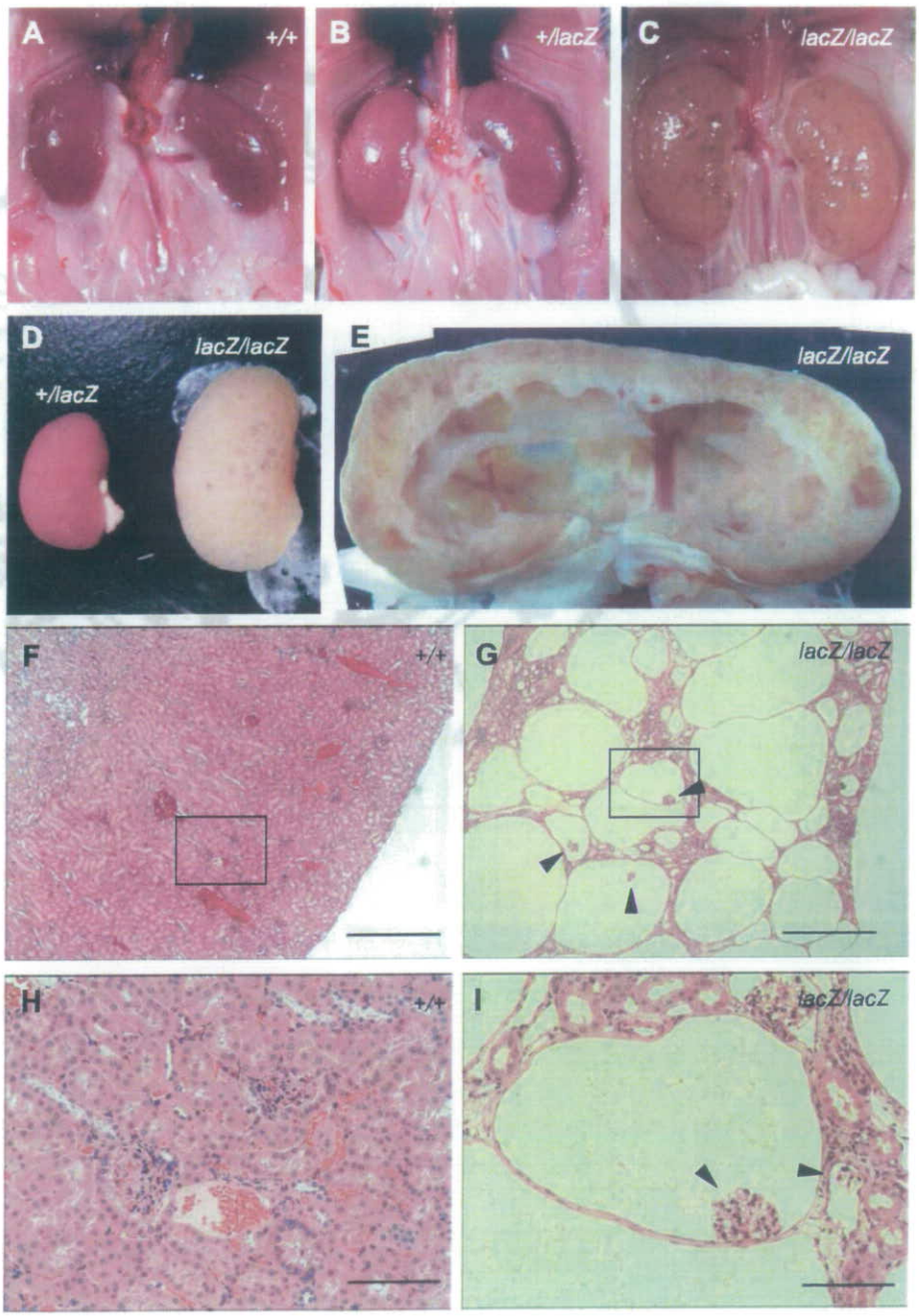
Nos. in parenthesis indicate percentage of the total numbers. E, embryonic day; P, day postpartum.

tapraid4/zh2-aflu/zh2-aflu/zh200308/zh25047d08z | xppws | S=1 | 1/29/08 | 2:16 | MS: F-00201-2007 | Ini: 03/dmp/dlh

embryonic day 9.5 $Taz^{+/lacZ}$ embryos. At *embryonic day 9.5*, *lacZ* staining was observed in the somitic mesoderm and as in the neuroectoderm within the forebrain and hindbrain (Fig. 1, *E* and *F*). Within the somites, *lacZ* expression was detected in the myotome (Fig. 1*G*). These expression patterns coincide with that of authentic *Taz* expression revealed by in situ hybridization (25).

Early mortality in $Taz^{lacZ/lacz}$ *mice.* When 309 littermates derived from $Taz^{+/lacZ}$ intercrosses were followed, 24 pups were found dead before 3 wk of age; 9 of 10 dead pups that could be genotyped were homozygous null. Genotyping of the remaining 285 littermates at 3 wk of age identified 90 wild-type (32%), 177 heterozygous (62%), and 18 homozygous (6%) mice, indicating that only one-fifth of the expected Mendelian ratio of $Taz^{lacZ/lacZ}$ mice were alive at weaning (Table 1). T1

To determine the stage at which homozygous null mice started to die, offspring from $Taz^{+/lacZ}$ intercrosses were genotyped at different embryonic stages. From *embryonic day 8.5* to *15.5*, the distribution of genotypes was close to the 1:2:1 Mendelian ratio (Table 1). At *embryonic day 18.5* and *day 0* postpartum, the numbers of $Taz^{lacZ/lacZ}$ homozygotes were lower than the expected ratio (Table 1), indicating that partial lethality started at the perinatal stage.



COLOR

Fig. 2. Enlarged kidneys containing multiple cysts in $Taz^{lacZ/lacZ}$ mice. *A-C*: gross appearance of kidneys of $Taz^{+/+}$ (*A*), $Taz^{+/lacZ}$ (*B*), and $Taz^{lacZ/lacZ}$ (*C*) mice aged 10 wk. $Taz^{lacZ/lacZ}$ kidneys are enlarged, pale, and filled with numerous cysts. *D*: comparison of $TAZ^{+/lacZ}$ and $Taz^{lacZ/lacZ}$ kidneys. *E*: section of a $Taz^{lacZ/lacZ}$ kidney showing dilated calyx and thinned parenchyma containing multiple cysts. *F–I*: histology of $Taz^{+/+}$ (*F* and *H*) and $Taz^{lacZ/lacZ}$ (*G* and *I*) kidneys at low (*F* and *G*) and high (*H* and *I*) magnification. Boxed areas in *F* and *G* are magnified in *H* and *I*, respectively. $Taz^{lacZ/lacZ}$ kidneys exhibit numerous cysts of various sizes that are lined by a flattened epithelial monolayer. Cysts containing a glomerular tuft (arrowheads) are often observed. Scale bars indicate 500 μm (*F* and *G*) or 100 μm (*H* and *I*).

tapraid4/zh2-aflu/zh2-aflu/zh200308/zh25047d08z | xppws | S=1 | 1/29/08 | 2:16 | MS: F-00201-2007 | lni: 03/dmp/dlh

COLOR

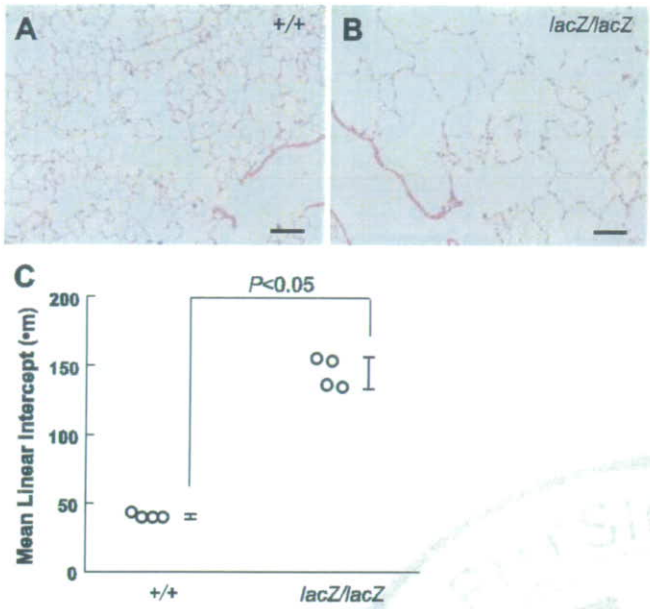


Fig. 3. Pulmonary emphysema-like changes in $Taz^{lacZ/lacZ}$ mice. *A* and *B*: hematoxylin and eosin staining of lung sections of $Taz^{+/+}$ (*A*) and $Taz^{lacZ/lacZ}$ (*B*) mice aged 9 mo. Enlarged air spaces and alveolar wall disruption are observed in the lung of $Taz^{lacZ/lacZ}$ mice. Scale bars indicate 100 μm. *C*: morphometric analysis. Mean linear intercept values are significantly greater in $Taz^{lacZ/lacZ}$ mice (n = 4) than wild-type mice (n = 4) aged 8–9 mo. A total of 288 lines drawn across the lung section were analyzed for each group. Error bars indicate SDs of the mean.

Multiple renal cysts and dilated calyces in $Taz^{lacZ/lacz}$ mice. To characterize the phenotype that may be related to early mortality, we performed macroscopic and histological examinations on surviving $Taz^{lacZ/lacZ}$ mice. The most prominent abnormalities were first detected in the kidneys. Adult $Taz^{lacZ/lacZ}$ mice showed bilaterally enlarged, pale kidneys (Fig. 2, *C* and *D*). F2 The calyces were extremely dilated, leaving thinned parenchyma containing multiple cysts (Fig. 2*E*). Histological analysis of 10-wk-old $Taz^{lacZ/lacZ}$ mice demonstrated numerous cysts of various sizes replacing most of the renal parenchyma (Fig. 2*G*), whereas no such changes were found in wild-type and $Taz^{+/lacZ}$ kidneys (Fig. 2, *F* and *H*). Cysts were lined by a flattened epithelial monolayer and sometimes contained a glomerular tuft, indicating an origin from Bowman's capsule (Fig. 2, *G* and *I*). The surrounding tissues showed increased interstitial fibrosis in Masson's trichrome staining (data not shown). Notably, these renal changes in $Taz^{lacZ/lacZ}$ mice shared a similar histology to human PKD.

In contrast, calyceal dilatation is uncommon in human PKD. To examine whether the dilation of the pelvis and atrophy of the medulla in $Taz^{lacZ/lacZ}$ kidneys could be secondary to anatomical obstruction in the urinary tract, we injected black ink into the pelvis of *embryonic day 18.5* kidneys. In $Taz^{lacZ/lacZ}$ kidneys, peristaltic passage of urine through the ureter was observed similar to wild-type and heterozygous littermates (data not shown). The urinary bladder was not apparently dilated in $Taz^{lacZ/lacZ}$ embryos at this stage (data not shown). These results suggested that the hydronephrotic changes in $Taz^{lacZ/lacZ}$ kidneys were not due to mechanical obstruction of the urinary tract.

Extrarenal phenotypes in $Taz^{lacZ/lacz}$ mice. In human ADPKD, extrarenal manifestations are often observed in the liver, pancreas, blood vessels, heart, and other organs. However, examination of adult $Taz^{lacZ/lacZ}$ mice did not reveal obvious abnormalities in these tissues (data not shown). Instead, the lung was unexpectedly affected in $Taz^{lacZ/lacZ}$ mice. Histological examination revealed enlarged airspaces in $Taz^{lacZ/lacZ}$ lungs at the age of 8–9 mo (Fig. 3, *A* and *B*). The mean linear intercept, as F3 a measure of interalveolar wall distance, was significantly

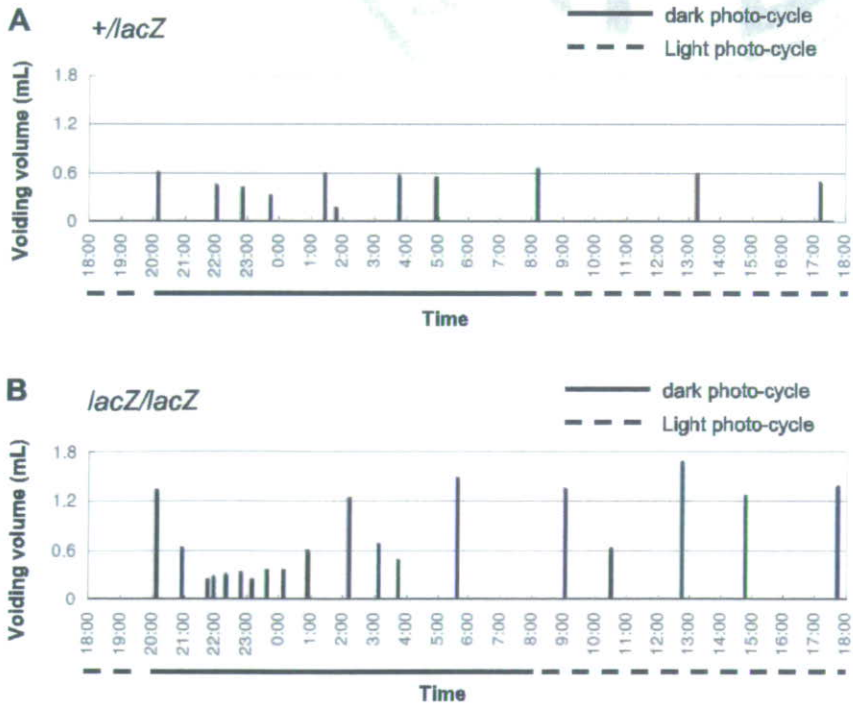


Fig. 4. Representative 24-h urinary frequency/volume records. Mice aged 5–6 mo were subjected to the analysis. Urine volume per void, voiding frequency, and total volume per day are greatly increased in $Taz^{lacZ/lacZ}$ mice (*B*) compared with $Taz^{+/lacZ}$ mice (*A*).